

■講演会主旨

特定非営利活動法人海に学ぶ体験活動協議会（以下CNAC）は、平成19年に海辺の自然体験活動を普及させるために設立された全国組織です。これまで海辺の体験活動の普及のために安全に関する一般市民への啓発、指導者養成等を中心に実施し、成果物として、海あそび安全講座のための小冊子、運営マニュアル、海あそびのプログラム事例集などを作成しています。

設立以来5年を経過した平成25年度からは東日本大震災以後の体験活動への関心や重要性の高まりの動きを受け、これまでの活動に加え、新たな活動目標として、「皆で汗かく三つの広げよう運動」を展開し、当協議会の組織強化、活性化を図ってきました。また、平成28年度からは新たに「実践するCNAC三か年計画」（平成28-30年度）の目標を掲げ、これまで培ったノウハウを広範な関係者と共有連携しながらフィールドで実践し、海辺の自然体験活動の定着を推進しております。

このたび、平成30年度CNAC総会の開催にあたり、CNAC会員であり、昨年「生物多様性日本アワード」で見事グランプリを受賞された、NPO法人黒潮実感センター長/農学博士の神田優様にご講演を頂くことといたしました。同氏にご講演を頂くことにより、今後の会員の活動を広げる機会になると考えています。

■プログラム

1. 開催日時：平成30年6月4日（月）15：45～17：00

2. 開催場所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟513

3. スケジュール

○講師：NPO法人黒潮実感センター長 神田優（かんだ まさる）氏

○演題：「高知県西南端柏島・島が丸ごとミュージアム」持続可能な里海づくり（仮）

○プログラム

・受付 15：30～

・講演 15：45～16：45 ・質疑 16：45～

・閉会 17：00



* 講師：神田優 氏（NPO法人黒潮実感センターセンター長,博士（農学））略歴

1966年10月8日高知市生まれ

高知大学農学部栽培漁業学科卒業後、東京大学海洋研究所で大学院博士課程修了。農学博士。専門は魚類生態学。

1997年～2001年：高知医科大学非常勤講師 1997年～2006年：高知大学非常勤講師

2007年～：高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科客員准教授 2010年～：神戸大学非常勤講師

学生時代は釣りやスイミングインストラクター、高知県柏島および沖縄県座間味島でのダイビングガイドで生計を立てつつ学問に励む。潜水時間7000時間以上。四国の西南端、高知県大月町柏島に“島が丸ごと博物館”という構想の元、海のフィールド・ミュージアムを作ろうと98年に単身柏島に移住し、2002年NPO法人黒潮実感センターを立ち上げる。現在、センター長。

主な受賞歴：2000年12月：朝日海とのふれあい賞 準賞（朝日新聞社）

2002年11月：第17回 龍馬賞（龍馬賞基金）

2005年7月：日本沿岸域学会 出版・文化賞

2007年11月：第27回全国豊かな海づくり大会 水産庁長官賞（漁場保全の部）

2010年9月：第6回エコツーリズム大賞（環境省）

2010年11月：高知県文化環境功労賞

2012年7月：第5回海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）

2015年2月：毎日地球未来賞・クボタ賞（毎日新聞社・株式会社クボタ）

2017年9月：生物多様性日本アワード(※)グランプリ（イオン環境財団）

※「生物多様性日本アワード」は、(公財)イオン環境財団が、日本在住の団体・個人による、生物多様性の保全と持続可能な利用に資する優れた取組を、グランプリおよび優秀賞として選出し、顕彰するものです。